

● Activities ●

ドコモ・イノベーションビレッジによる起業支援

1. ドコモ・イノベーションビレッジとは

ドコモは、革新的なサービス・技術を有するベンチャー企業を発掘・支援するために、起業をめざす個人や企業・団体を対象に「ドコモ・イノベーションビレッジ（以下、「ビレッジ）」の第1回プログラムを2013年2月よりスタートしました。

これまでも、ベンチャー投資活動という観点では、子会社のドコモ・ドットコムを通じ、ある程度事業が軌道にのりはじめたミドル・レイターステージのベンチャー企業を中心に、ドコモのビジネスパートナーとなり得る企業を発掘し、投資活動を行ってきました（図1）。

しかしながら、近年のクラウド^{*1}環境の充実による初期投資コストの低下（Amazon Web ServicesTM^{*2}など）や、スマートフォンの普及に伴うグローバル

規模での巨大なマーケットプレイスの登場（App Store^{*3}・Google PlayTM^{*4}）、ソーシャルネットワークの拡大によるマーケティング・プロモーション手段の変化（Facebook^{*5}など）といったベンチャー企業の成長スピードを加速させるための環境が整い、サービス開始後わずか1年足らずの間に1000万ユーザを獲得したインスタグラム^{*6}のようなサービスを生み出す企業が登場するとともに、創業からEXIT（創業者やファンドが株式を売却し、利益を手にする）までの期間も大幅に短縮しています（図2）。

このような環境変化の中、ドコモとしてもこれまでのミドル・レイターステージの企業との協業だけでなく、新しいアイデアや大きな成長の可能性を秘めたシード・アーリーステージのベンチャー企業をいち早く発掘し、ドコモ自らがその成長を後押しすることにより、スマートフォン向けサービスの多様

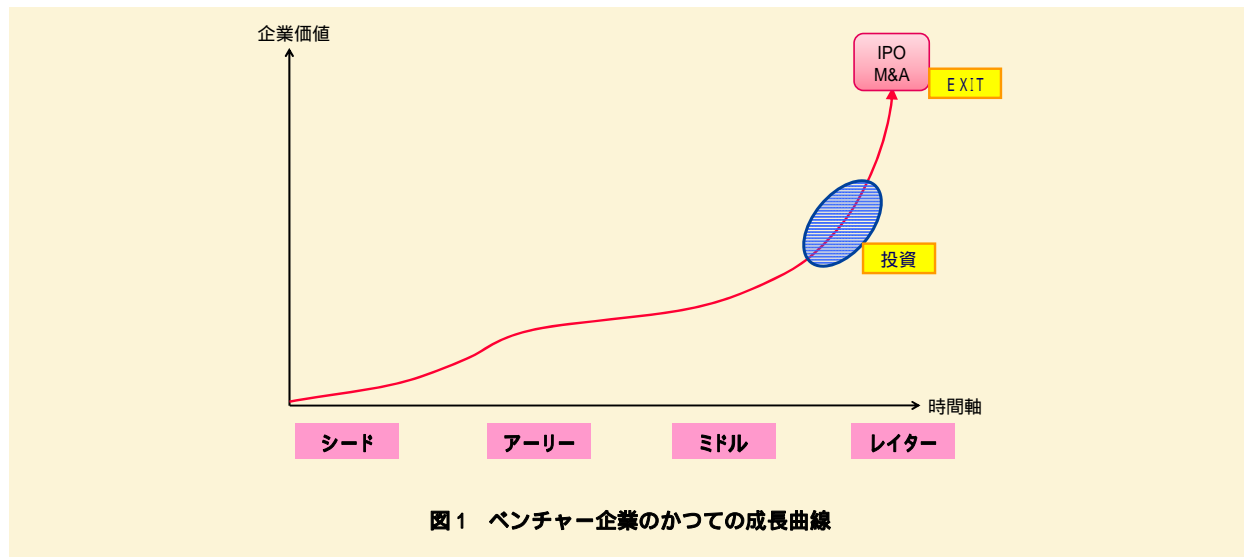


図1 ベンチャー企業のかつての成長曲線

©2013 NTT DOCOMO, INC.
本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

*1 クラウド：ネットワーク経由でサービスを利用する形態、仕組み。利用状況に応じたサーバリソースの分配が可能ため、スケーラビリティが高い。

*2 Amazon Web ServicesTM：Amazon が提供する、サーバー・ストレージ・データベースなどのクラウドサービス。Amazon Web Services は、米国およびその他の諸国における Amazon.com, Inc. またはその関連会社の登録商標。

*3 App Store：米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標。

化・強化や、ドコモがめざす新事業分野におけるサービス開発の強化・スピードアップにつなげていきたいと考えています。

2. 日本を代表するグローバルベンチャーの育成をめざして

ドコモがこの取組みでめざしているのは、日本を代表するグローバルベンチャー企業の育成です。そのために、国内外の有力なインキュベーター（起業に関する支援を行う事業者）と連携を行っています。

特にアメリカ・シリコンバレーの有力なインキュベーター「500 Startups」とは密にしており、500 Startups のメンバによるプログラム参加企業への

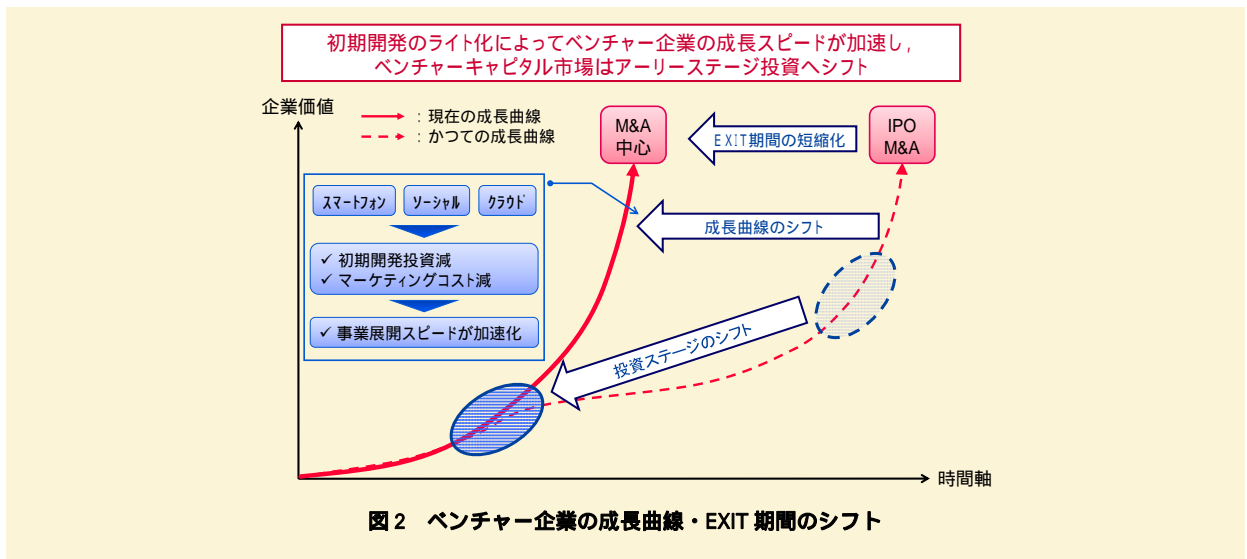
助言や 500 Startups 主催の起業支援プログラムへのビレッジ卒業チームの派遣などを行っています（図3）。

本提携が、日本のベンチャー企業の海外進出およびシリコンバレーのベンチャー企業の日本進出の橋渡しとなるよう発展させていきたいと考えています。

3. ノウハウ・環境・資金の支援

また、ビレッジは、500 Startups との連携に加え、スタートアップベンチャー企業の発展に必要な以下の支援を行っています。

ノウハウの提供（社内外の有識者によるアドバイス、ドコモ社員（チューター）によるチーム



2010年にシリコンバレーで設立。シードファンドおよびインキュベーションプログラムを提供する、アメリカトップクラスのアクセラレータ

2年間で450社以上のスタートアップに出資し、うち18社以上をGoogle, Facebook, Twitter, AmazonやLinkedInへ売却

主なマネジメントメンバー

Dave McClure
元PayPal幹部。Founders FundやFacebookのインキュベーターファンドを運営。

George Kellerman
日本のスタートアップへの投資や戦略的投資家とのパートナーシップを担当。DellやYahoo!でのマネジメント経験を有す。

具体的な連携内容

- 500 Startupsのパートナーによる、ドコモ・イノベーションビレッジでの講演やメンタリングの実施
- ドコモ・イノベーションビレッジの参加チームのうち、北米への進出を計画しているチームに対する、シリコンバレーでの短期メンタリング
- ドコモ人材の500 Startupsへの派遣による、インキュベーションプログラムの運営ノウハウ獲得

図3 500 Startups との提携概要

*4 **Google Play™** : Google の Android 端末向けアプリケーション・映画・音楽・書籍の配信サービス。Google Play™ は、米国 Google, Inc.の商標または登録商標。
*5 **Facebook** : Facebook, Inc.の商標または登録商標。

*6 **インスタグラム** : スマートフォンで撮影した写真を加工し共有できる Web サービス。インスタグラム (Instagram) は Instagram, LLC の登録商標。

単位の支援)

場所・環境の提供 (ドコモ開発 API*7, 開発環境 (LTE 環境, クラウド環境), 共有ワーキングスペース) (写真1).

資金の提供 (第1回は200万円)

チューターとして, 研究開発, プロダクト開発, 各サービス企画, マーケティングなどのノウハウをもつ社員10人が参加しています. 彼らは, 各ベンチャー企業のメンバと一体となってサービス開発の検討やドコモとの連携のサポートを行っています.

さらに, 第1回プログラム用には12種類のAPI (フォトコレクション API など) を公開し, ベンチャー企業を開発の側面からサポートする体制も整えています.

ビレッジの主目的はベンチャー企業を支援することですが, ベンチャー企業との連携を通じ, 参加しているチューターのベンチャーマインドの醸成やドコモ社内でのサービス開発への刺激につながることも期待しています.

4. 参加チームの開発成果を発表

本誌が発行される2013年10月ごろには, 第1回プログラムに参加した6チームによる開発成果発表が終了している予定です.

ヘルスケアとコマースの融合サービスや, 新ジャンルの書籍配信サービス, NFC*8を利用した広告サービス, エンタメ系フォトサービス, クローズドSNS, SNS系フォトサービス, など幅広いサービスのお披露目が行われます (表1).

ぜひ, 第1回プログラム参加チームのサービス内容についてご確認いただくとともに, 彼らの今後の活躍を暖かく見守っていただきたいと思います. 開発成果発表会の模様はドコモ・イノベーションビレッジのHP[1]でご覧いただけます.

9月には第2回プログラムもスタートさせ, 参加



写真1 共有ワーキングスペース

表1 第1回プログラム参加チーム一覧

チーム名	開発サービス概要
(株)ウィルモア	アレルギーをもつ人が安心して食材選びができるECサービス
(株)GADGET	2,000文字以内の短編小説を集めたコンテンツサービス
(株)coromo	NFCなどを用いて, スマートフォンのホーム画面をワンタッチでデザインし, さらに広告としての活用をめざすサービス
SODA(株)	さまざまなカメラアプリで撮影した楽しい写真を共有するサービス
(株)TIMERS	カップルにフォーカスしたクローズドなコミュニケーションサービス
(株)プライムアゲイン	デコ機能を使って写真を加工し, グループ内で共有するサービス

チームの募集を行いました. 第2回では, 第1回よりさらにパワーアップした内容でベンチャー企業の成長を加速させたいと思っています.

今後のドコモ・イノベーションビレッジの活動にご期待ください.

文献

- [1] ドコモ・イノベーションビレッジ: “ドコモ・イノベーションビレッジは, 起業家の皆様をドコモが様々な側面からサポートするプログラムです.”
<http://www.nttdocomo-v.com/village/>

*7 API: OS やミドルウェアなどが提供する機能を, 上位のソフトウェアが利用するためのインタフェース.

*8 NFC: FeliCa®のような非接触通信技術とその標準化を表す. FeliCa®は, ソニー(株)の登録商標.